

令和元年度第1回青森市子ども会議 開催概要

- 1 日時 令和元年5月11日（土） 10時00分～12時30分
- 2 場所 青森市総合福祉センター2階 大集会室
- 3 出席者 令和元年度青森市子ども会議委員18名（欠席者6名）
市長、事務局6名
- 4 次第
 - 1 開会
 - 2 子ども会議委員自己紹介
 - 3 市長あいさつ
 - 4 事務局職員紹介
 - 5 今年度の活動内容説明
 - 6 浪岡子どもの祭典の準備
 - 7 閉会

5 開催概要

今年度も子ども会議が始まりました。子ども会議とは、“子どもの立場から”まちづくりをはじめ、市政などに子どもが意見を表明し、参加する場として、小学校5年生から高等学校3年生までの子どもで構成された会です。

今年度の子ども会議では、委員が24名（小学生4名、中学生9名、高校生11名）と、子どもたちの活動のサポート役となる子どもサポーターが1名（大学生）参加します。

（令和元年5月11日時点）

開会

昨年から引き続き委員となった濱田委員から、開会のあいさつをしました。その後、初めて子ども会議へ参加する委員のため、パワーポイントを使って子ども会議の活動について紹介しました。



子ども会議委員自己紹介

子ども会議委員から、自己紹介や会議への抱負などを発表しました。

<委員からの主な抱負>

- ・昨年は、カシスやそば等たくさんの青森の特産品を紹介してきました。今年もたくさんの特産品をみんなにPRできるように頑張るので、よろしくお願いします。
- ・（子ども会議委員をつとめるのは）今年で6年前後になります。飽きっぽい自分がこんなに続くなんて自分でもびっくりしました。今年もまちづくりの方を頑張っていこうと思います。



- ・僕は青森が大好きです。より良いまちにしたいのでどうぞよろしくお願いします。
- ・昨年度は中心商店街の喫茶店に取材に行って、商店街のお店の方々の思いや温かさに触れて、青森がもっと好きになりました。今年は商店街の活性化や未来について考えつつ、地方活性化アイドルのGMUさんともコラボさせていただける機会があるということで、特産品のPRも頑張りたいと思います。
- ・この1年で観光客や他県の人々や海外の人達へ青森の良いところを伝え、もっと青森を発展させていきたいです。
- ・今年度からの参加になるのですが、他の年齢の委員の皆さんと交流すると共に、青森市のまちづくりに関わる活動を積極的におこなっていきたいと思います。
- ・この会議（に参加するのは）は初めてですが、この会議に参加して、他の学校の子も達と交流して青森をより良くしていきたいです。

続いて、小野寺市長から今年度の子ども会議委員に対し、激励のこたばをいただきました。

市長あいさつ

子ども会議は、子どもの権利条例という青森の決まりに基づいて作られた会議ですが、ひと言でいうと、皆さんが住んでいる青森市というまちを元気にするためにはどうしたらいいかということ、小学生、中学生、高校生、皆の力で考えていただくという会議です。

子ども会議の1番の特徴は、市が運営しているので、子ども会議で活動できるステージがたくさんある事です。

例えば、7月には浪岡で子どもの祭典というイベントで活動する舞台、8月には皆さんが大好きな青森ねぶた祭へも参加いただいて、子どもの権利について広めていただく場を作ります。

さらには、1番大きいイベントとして11月の「子ども会議フォーラム」という、皆さんのこれまでの活動を発表していただくような場も作ります。緊張する会議ですけど、とても成果がある、やりがいのある会議ですので、ぜひ積極的に出来るだけたくさん参加してほしいと思います。

早速ですが、早速皆さんへお願いする新しいプロジェクトがあります。昨年の子ども会議フォーラムで「青森市の食べ物、特産品をPRするお手伝いをしたいです」というお話をいただいたことから、皆さんには5月18日の「うまい森、青いもりフェア」というステージをご用意したいと思います。このイベントは青森市の美味しい物を歌やダンスでご紹介するイベントです。

我々も本気でやりますので、皆さんにもぜひ「本当に青森の食べ物美味しいよ」ということを全力でPRして欲しいと思います。

この会議はみんなで楽しくやる会議ですから、和気あいあいと楽しく仲良くやってほしいと思います。できるだけ参加して、青森市という皆さんの住んでるまちを盛り上げて下さい。

今年1年よろしくお願いします。



ここで、会議は一時休憩となりました。休憩中は、委員どうしで自己紹介をしながら、初めて顔をあわせる人たちと積極的に交流し、和気あいあいとした雰囲気につつまれていました。

休憩後は、交流をさらに深めるため、アイスブレイク（フルーツバスケット）を行い、だんだんと打ち解けやすい雰囲気となってきました。



（参考）フルーツバスケットとは

椅子を人数分よりひとつ少なく円に並べて、鬼が「めがねをかけている人」など特徴を挙げ、合致する人が席替えをしなければならない、というゲームです。

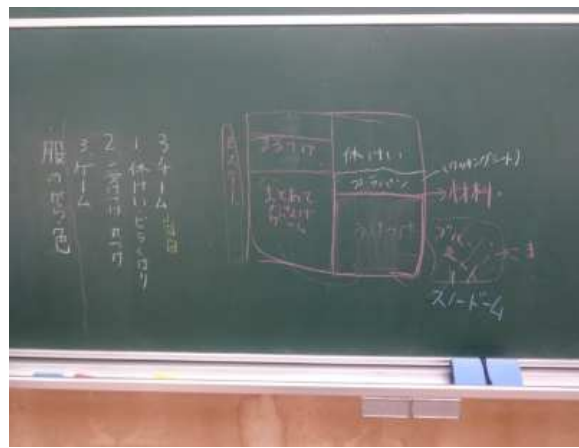
この後、事務局から、各職員の紹介と今年度の活動内容について説明がありました。

子どもの祭典準備

7月7日(日)に浪岡総合公園で開催される「子どもの祭典」での活動内容を話し合いました。

各委員からは様々なアイデアが出るなかで、今年度は、昨年実施したスタンプラリーやクイズのほか、プラバン、スノードーム、的当てゲームなどを実施することに決まりました。

今回は、これらの詳細を話し合うほか、今年度のねぶた祭などの活動で着用するTシャツのデザインなどを話し合うこととなりました。



来週5月18日(土)は、青森県観光物産館アスパムで開催する「うまい森青いもりフェア」に参加し、青森の食を応援する地域活性化アイドル「GMU (ジー・エム・ユー)」と一緒に、ダンスと食レポであおもり産品をPRします。